

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	豊かさを実感できる海の再生事業		担当部局庁	環境省水・大気環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	閉鎖性海域対策室		閉鎖性海域対策室長 富坂 隆史	
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	③水質汚濁防止法第4条の2、第4条の5		関係する計画、 通知等	①東日本大震災からの復興の基本方針			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)	地域と海との関わりによる里海づくりの導入・普及促進や、効果的な水質総量削減等の実施、赤潮被害の現象解明等により、水質面だけでなく、生物多様性、生物生産性等の側面も含めて、豊かさを安定的に実感できる海の再生を図る。 また、東日本大震災の被災地においては、地域の人々の生活や産業が海と深く関わって成り立っており、被災地の復興のため、巨大津波により大打撃を受けた豊かで健全な海の回復に向けた取組の推進を図る。						
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	①被災地に存在する閉鎖性海域のうち、陸域からの負荷が大きい主要海域を対象に、地域の要望を反映した里海復興プランを策定するとともに、同プランに基づく地域が連携した人の手による豊かで健全な海への再生の取組に対し支援を行う。 ②人の手で適切に管理されることにより生物生産性を高め、豊かな生態系保全に効果をあげている「里海」づくりを促進させるため、モデル地域における取組効果を実証、可視化するとともに、各地域の取組の全国ネットワークの構築を行う。 ③昭和54年度から実施してきた水質総量削減について、その取組の進展が見られる海域において、汚濁負荷量の適正管理の視点から、場所や季節に対応した管理方策の検討を行うとともに、底質改善、海水交換促進等の対策メニューの充実を図る。 ④大規模赤潮による漁業被害発生海域について、赤潮発生の端緒となる環境悪化を迅速かつ的確に把握し、機構解明を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の 状況	当初予算					540
		補正予算					
		繰越し等					
		計					540
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	①里海復興支援事業 各地域の意向を受け決定するため未定 (現時点ではアマモ場面積を想定)	成果実績					未定
		達成度					
	②持続可能な里海づくり促進事業 里海ネットワークへの参加数	成果実績					ネットワーク立ち上げ
		達成度					
	③効果的な水質総量削減実施に向けた検討 場所や季節に対応した汚濁負荷量の管理方 策等を得ることが成果目標であり、定量的評価 になじまない。	成果実績					-
		達成度					
	④赤潮被害発生海域における環境変化機構解 明調査 有害赤潮大発生の端緒となる海域環境条件 等を解明することが成果目標であり、定量的評 価になじまない。	成果実績					-
達成度							
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①里海復興支援事業 復興支援海域数	活動実績					(5)
		(当初見込 み)					
	②持続可能な里海づくり促進事業 モデル地域の選定数	活動実績					(3)
		(当初見込 み)					
③効果的な水質総量削減実施に向けた検討 検討会の開催回数	活動実績					(8)	
	(当初見込 み)						
④赤潮被害発生海域における環境変化機構解 明調査 水質連続観測体制の整備	活動実績					(1)	
	(当初見込 み)						
単位当たり コスト	①60,000千円/海域 ②17,400千円/地域 ③12,500千円/回 ④46,000千円/一式		算出根拠	①1海域当たりの予算要求額 ②1地域当たりの予算要求額 ③予算要求総額/検討会開催回数 ④水質連続観測装置の設置・保守・観測関係予算要求額			
平成 2 3 ・ 2 4 年度 予算	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	0	540				
	計	0	540				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 の 状 況 ・ 予 算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金 の 流 れ ・ 費 目 ・ 使 途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績 ・ 成 果 実 績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果			
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>要求を認めるが、事業全体の執行管理をすることにより、速やかかつ効率的に事業を実施し、成果を上げること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
なし			

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					